

タウン スポット



鶴岡八幡宮 若宮



若宮で印章祈願の様子



若宮の前で御祓いされた印鑑を持つ月野允裕さんと奥様の千恵子さん

魂のはいった印鑑を御祓い

「鎌倉はんこ」が鶴岡八幡宮に依頼

二〇二〇年十月一日、鶴岡八幡宮若宮で印章祈願が行われた。

一八七三年十月一日、太政官布告によって公式書類に実印を押しように定められたため、この日に印章の供養やお祓いが行

われることになった。

鎌倉は判文化との繋がりが濃いと、鶴岡八幡宮の御判行事、元服時の判の使用を認める判始めの儀、頼朝公の書き判、歴史的な儀式に判が使用されてきた。

今回の御祓いは七十年前に奈良で創業し、二〇一五年十一月に鎌倉で事業を開始した「鎌倉はんこ」が鶴岡八幡宮に依頼して

実現したもので、代表の月野允裕氏は「日本人にとって印鑑は魂や分身として考えられ、節目節目に使われてきました。当店では故人の印鑑や代々の印鑑等をお客様から預かり、鎌倉

を代表する鶴岡八幡宮でお祓いを受けることで、改めて印鑑の歴史・文化・伝統を多くの方にお伝えできればと考えております」と話す。

当日は印鑑約五〇〇本余がお祓いされ、後日、京都下鴨神社で印鑑のお焚き上げが行われる。

問合せは ☎0467・37・9297